

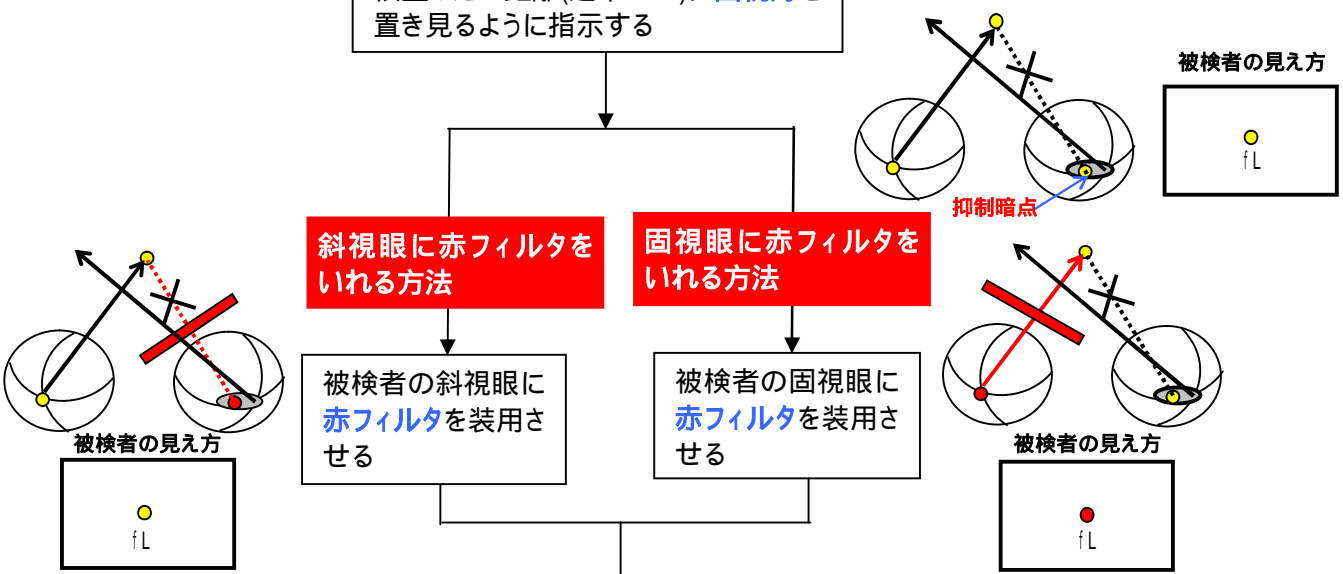
抑制視野の検査(プリズムによる赤フィルタを装用する方法)

目的: 抑制暗点の広さの計測

準備物: 固視灯・赤フィルタ・パープリズム(又はロータリープリズム)

検査したい距離(通常 5m)に固視灯を置き見るように指示する

例) 右眼内斜視: 10 の水平抑制暗点



複視があるか?

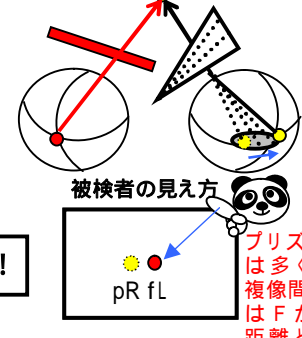
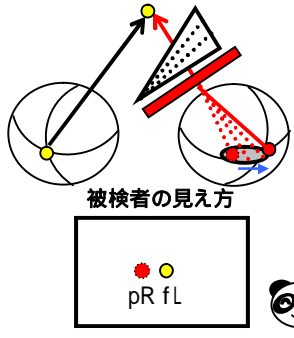
抑制なし

抑制あり

ただし、赤フィルタを装用したので抑制がとれたということも考えられる。健眼に赤フィルタを装用した場合は視力が低下することや固視している色が変わるので異質の物と判断すること(両眼分離)などによって抑制がとれることがあるからだよ。

斜視眼に赤フィルタをいれる方法

固視眼に赤フィルタをいれる方法



斜視眼にプリズムを Base out に入れ、(交叉性)複視が起こるまで増加させる

例) **6 Base out** で交叉性複視が出た!
暗点の耳側縁が決定!

斜視眼にプリズムを Base in に入れ、(同側性)複視が起こるまで増加させる

例) **4 Base in** で同側性複視が出た!
暗点の鼻側縁が決定!

全プリズムの度数が暗点の水平直径(単位は)

結果・記載例)

プリズムによる抑制の検査
水平直径: 計 10 の抑制暗点

同様に Base up(上方縁の決定)、down(下方縁の決定)にて垂直方向の抑制暗点を計測する

プリズム量は多くても複像間距離は F からの距離となるのでこの場合は狭い。

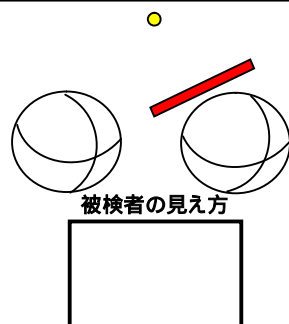
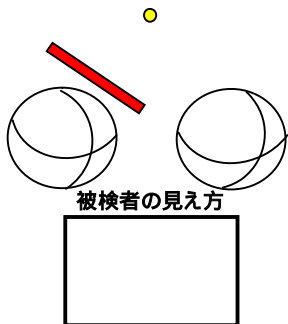
この場合は鼻側の抑制が大きいので複像間距離は広い。

赤フィルタを装用する方法で左眼外斜視で抑制がある場合のそれぞれの見え方を図示せよ。

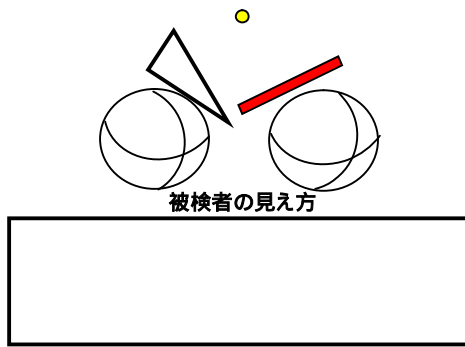
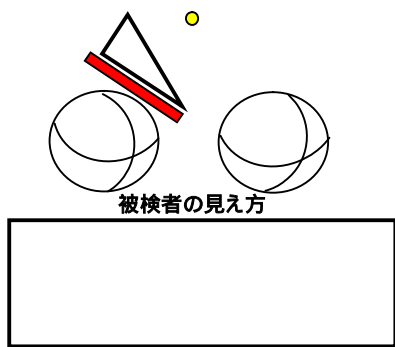
斜視眼に赤フィルタをいれる方法

固視眼に赤フィルタをいれる方法

プリズム装用前



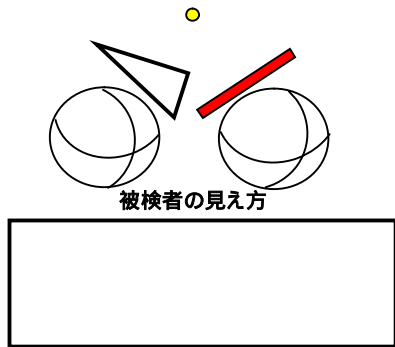
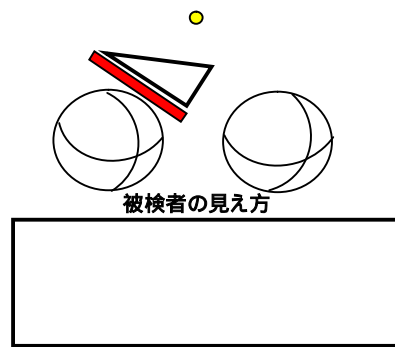
他覚的斜視角量のプリズムを基底外方に装用



複視

複視

他覚的斜視角量より多くのプリズムを基底内方に装用



複視

複視

赤フィルタを装用する方法で左眼外斜視で抑制がある場合のプリズム量によるそれぞれの見え方を図示せよ。

